

日本画教室 初心者短期クラス

初めて日本画を学ぶ初心者のためのクラスです。

開催日時 令和7年4～令和8年3月 全6回 13:00～16:00

開催場所 山口蓬春記念館 別館 (神奈川県三浦郡葉山町一色 2320)

募集人数 若干名

参加費用 9,600円

講師名 吉田 愛(火曜担当) 押山 治(水曜担当)

申込締切日 参加希望日の1週間前

日程・内容 (各回予定)

全6回

- ・第1回受講日はお申込日から1ヵ月以内の日にご指定いただきますようお願い申し上げます。
- ・お申し込みの際、「備考」欄にて、全6回の受講希望日をご記入ください。当財団で教室の空き状況等を踏まえ、第1回受講日を調整させていただき、別途、メール・電話等でご連絡いたしますので、あらかじめご承知おきください。
- ・行程の都合上、第1回受講日は★以外よりお選びください。
- ・日程・内容は変更になる場合があります。

下記の日程から6つ選択			内容	用意するもの
	火曜	水曜		
4月		23日★ 30日★	第1回 ○オリエンテーション (日本画を始めるにあたって、6回の進め方等の説明) ○モチーフ写生	スケッチブック (F6)、鉛筆(2B・B・HB)、水彩画用具一式、練り消しゴム、雑巾、モチーフ
5月		7日★ 14日★	第2回 ○写生を本紙(ボード)に写す ○墨線骨描きおよび隈取り(輪郭線を写した後に、薄墨で陰影などを入れる。) ○膠と絵の具の溶き方の説明の後、上汁黄土による地塗り	同上
		21日★ 28日★		
6月		4日★ 11日★	第3回 ○岩絵の具の解説と溶き方の説明の後、バックの彩色 (バックの彩色は、時間の許す限り数回重ねて塗る。)	日本画用具一式
		18日★ 25日★		
7月		2日★ 9日★		
9月		3日 10日	第4回 ○モチーフの彩色に入る (下塗りから入り、絵の具を上は何色が重ねるイメージを持つ。)	"
		17日 24日		
10月		1日 8日		
		15日 22日	第5回 ○モチーフの彩色続き (ある程度納得できるまで、こだわりを持って塗り重ねる。)	"
		29日		
11月		12日		
		19日 26日	第6回 ○仕上げ	"
12月		3日 10日		
		17日 24日		
1月				
2月		4日 11日		
		18日 25日		
3月		4日 11日		
		18日 25日		

		(細部の描き込みおよび全体感のバランスを整える。)	
--	--	---------------------------	--

		○日本画を1点制作してみたの感想等	
--	--	-------------------	--

持ち物・注意事項

スケッチブック (F6)、鉛筆 (2B・B・HB)、水彩画用具一式、練り消しゴム、雑巾、モチーフなど。

※日本画用具につきましては、初日に説明します(参加費とは別に、画材を揃えるのに3,000円ほどかかります)。

備考

- ・第1回受講日はお申込日から1ヵ月以内の日にご指定いただきますようお願い申し上げます。
- ・初心者短期クラスを修了し、引き続き継続されたい方は、「日本画 火曜」「日本画 水曜A」「日本画 水曜B」のコースにそのまま途中入会できます(要別途参加費用。各クラスの定員の都合により、ご希望に沿えかねる場合がございますので、あらかじめご承知おきください)。

講師プロフィール

吉田 愛 先生

2005年安宅賞受賞(安宅奨学基金)。2007年東京芸術大学美術学部日本画専攻卒業。2009年東京芸術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻修了。2007年～現在まで個展、グループ展多数開催。2019年第37回上野の森美術館大賞展・賞候補入選。2020年「GODIVA」「山田平安堂」コラボ限定コレクションの重箱に梅の枝をデザイン。2021年FACE2021損保ジャパン日本興亜美術賞展に入選。日本画の他、イラストや挿絵・本の装画制作もおこなう。現在、東京都立総合芸術高等学校美術科講師。

押山 治 先生

1961年神奈川県生まれ。1987年東京芸術大学日本画科専攻卒業。卒業制作《流》は台東区長賞受賞。1989年東京芸術大学大学院日本画科専攻修了。平山郁夫氏に師事。1990年レスポワール新人選抜展(銀座スルガ台画廊)。1993年院展初入選。1998年個展(銀座・かわべ美術)。1999年日本美術院院友推挙。2000～06年清風会展、2009・11・13・15・17・19・21・23年個展(銀座スルガ台画廊)。現在、日本美術院院友。